

下水・下水汚泥からのリン回収・活用に関する検討会 論点整理

世界的なリン資源需給の逼迫や主産出国の輸出制限により、リンの国際的な取引価格が高騰しており、全量を輸入に頼るわが国では、下水汚泥をはじめとする国内未利用・低利用資源からのリン回収・活用を強く求められている。このため、国土交通省では下水汚泥等からのリン回収に取り組んでいる自治体や、回収リンを活用する側の各種団体などで構成する、「下水・下水汚泥からのリン回収・活用に関する検討会（以下、「検討会」という。）」を設置し、課題の把握や今後の取り組みの方向性について検討を行った。

検討会では、島根県、福岡市、岐阜市、群馬県並びに大阪市からリン回収に関する話題提供、全国農業協同組合連合会、日本肥料アンモニア協会並びに日本無機薬品協会からリン活用に関する話題提供、日本下水道協会並びに日本下水道施設業協会からリン資源化に関する両協会員へのアンケート結果の報告があり、それらに基づき活発な討議が行われた。

検討会での議論を踏まえ、以下に今後具体的に検討を進めていくべき論点について整理する。

○下水道からのリン回収原価の改善

- ・ 水質汚濁の防止など下水道事業本来の目的を踏まえた適切なリン回収原価計算手法を確立
- ・ 薬剤費、設備費、維持管理費の低減など、回収コスト削減のための技術開発

○回収リン活用のための技術的な課題の明確化

- ・ 回収リンを原料として既存設備へ受け入れる際の技術的課題の明確化、技術開発
- ・ 回収リンの質を踏まえた施肥基準など、利用側指針の構築
- ・ ユーザー側が求めている品質、受け入れ可能量など受け入れ基準を整備

○リン回収側の品質管理体制の構築

- ・ 安全で安定したリンを回収するための品質管理体制、ガイドラインなどを整備

○回収リンの肥料取締法上の位置づけの明確化

- ・ 肥料登録手続きを明確にするため、回収リンを肥料又は肥料原料として利用する場合の肥料取締法上の位置付けを明確化
- ・ 回収リンの安全性評価、品質改善に関する技術開発

○回収リン活用側への財政的支援

- ・ 回収リンを原料として利用する際に、既存設備の改造又は増設など、活用側に追加的設備投資が必要な場合の財政的支援のあり方

○流通ルートの構築

- ・ 肥料原料として肥料メーカーに供給する場合など、広域循環の場合の流通ルートの検討
- ・ 肥料として農協等へ供給する場合など、地産地消型の流通ルートの検討
- ・ 下水道事業者のリン回収のポテンシャルと肥料メーカー等ユーザー側の活用ニーズとの間の情報共有・調整のための仕組みのあり方

○下水道からの回収リンのイメージ向上

- ・ 資源リサイクルという観点からのPR活動
- ・ 回収リンの品質などに関する情報提供，理解の浸透

○その他

- ・ リン版RPS法などのリン回収・活用推進策の整備
- ・ リン回収・活用に関する目標の明確化，ロードマップなど
- ・ いくつかの具体的なメニューの提示とフィージビリティの検討